

「令和元年度総務大臣表彰授与式」

「令和元年度日本行政書士会連合会定時総会」

「第39回日本行政書士政治連盟定期大会」に参加して

標記の件、令和元年6月20日(木)から21日(金)の2日間、東京都港区「シェラトン都ホテル東京」において開催されました。全国各単位会からの代議員239名(会員200名毎1名選出)に連合会役員が約100名、その他多数の傍聴者で大盛会。本会からは、國井豊会長(日行連理事)、飯塚富雄副会長(日行連代議員)、古川正美副会長(同)、郡司孝夫副会長(同)、阿部克巳政連幹事長(同)、石井徹県南支部長(同)と私、7名の参加となりました。

《1日目》

定刻、日行連定時総会が開会。第1号から第6号議案まで質問と答弁、肅々と議事は進行され、いよいよ第7号議案、役員の改選となりました。会長は選挙で選ばれます。今回は、遠田和夫会員(佐賀会)と常住豊会員(東京会)との現新一騎打ち。既定路線の完結を誓う現職と、新たなる地平を指示する新人との決戦は、114対123、新人が僅差で勝利いたしました。常住新会長の誕生です。

夕刻からは懇親会。縁ある国会議員をはじめとする御来賓、友誼団体や他単位会の方々との友好を深める絶好の機会となりました。

《2日目》

定時総会第7号議案のその他の役員選任(副会長・理事・監事を選考、承認)を終え、日政連定期大会の開会となりました。こちらも第1号から第

4号議案まで肅々と議事進行、第5号議案役員の選任となりました。こちらの会長は選挙ではなく、選考委員会によって選ばれた者を大会が承認するというスタイルをとりますが、選考委員会は長引き、大会もすんなりと承認とはならず、難航の末、井口由美子会員(熊本会)が選任され、すべての日程を終えました。

一つ転べば、どこかの単位会が翻っていれば、結果も変わっていたであろう日行連会長。難産の結果生まれた日政連会長。新会長のお二人には、選挙選考の過程をお忘れにならず、行政書士号の車の両輪として、ここから力強く加速していっていただきたい。制度推進と職域の確保に、その手腕を大いに振るっていただきたい。法改正等々、問題は山積みです。私もしっかりと見守り、しっかりと協力していく決意です。

なお、定時総会に先立ち総務大臣表彰授与式が挙行され、全国から選ばれた32名の会員とともに、本会から齋藤孝夫会員(水戸支部)が表彰状をお受けになりましたことご報告いたします。おめでとうございました。齋藤先輩のこれまでのご功績に感謝し、益々のご活躍を念願するものであります。

定時総会・定期大会の議案書・質問書等関係資料を閲覧希望の方は茨城県行政書士会事務局までご連絡下さい。

嶋田 広一(副会長・日行連日政連代議員)



日行連新執行部(常任会長と副会長)



本会からの参加者